



地域創造学部の学生がフィールドワークの成果を発表 「都市の再発見」をテーマに写真展を開催

追手門学院大学(大阪府茨木市、学長：川原俊明)は、2015年度に地域創造学部を開設し、演習やプロジェクトを重視した実践型の学びを展開しています。このうち都市の中にあるアートや福祉など多様な文化を学ぶ都市文化・文化創造コースは、学生たちによるフィールドワークの成果として12月15日～17日に「都市の再発見」をテーマに写真展を開催します。

2017年度、当コースの2～3年生のグループは、都市における商業空間の魅力とその形成背景などをテーマに研究を進めてきました。神戸・大阪・京都を中心にフィールドワークを行い、地域住民へアンケートを行うなど、商業空間と地域の歴史、観光、伝統産業等との関係についての調査を実施しました。

このフィールドワークの成果の一つとして、学生たちが撮影した都市の写真50点以上を集めた写真展を12月15日から開催します。単に「美しい」「歴史的な」風景ではなく、一見、混乱したように見える現在の都市景観や都市デザインとその背景にある人の暮らしなどを写真におさめ、「都市の再発見」を表現しています。

写真展初日の15日(金)には森本アリ氏(旧グッゲンハイム邸管理人・音楽家)を招き、「ちいさなまちのあそびかた」の講演を行うとともに、学生が発見した都市の魅力について意見交換を行います。

学生たちの学びの成果をぜひご取材くださいますようお願いいたします。

【ポイント】

- 都市への新たな視点を提示し、都市文化・文化創造コースの個性を表現するとともに、
- 現在の都市景観や都市デザインとその背景にある人の暮らしをよみとき、都市に蓄積された文化の価値を再発見する
- 神戸、塩屋の築105年の西洋館「旧グッゲンハイム邸」管理人の森本アリ氏がゲストスピーカー

【開催概要】

日 時：2017年12月15日(金)～17日(日) 12:00～19:00 (最終日は17:00まで)

会 場：ギャラリーモノコト (大阪市北区中崎西1-7-11 地下鉄谷町線「中崎駅」徒歩5分)

主 催：追手門学院大学 地域創造学部 都市文化・文化創造コース

この資料の配付先：大阪科学・大学記者クラブ、北摂記者クラブ等

【発行元】

追手門学院 広報課 TEL: 072-641-9590 谷ノ内・足立



2017/12/15 (fri)→17 (sun)

12:00 ~ 19:00 (最終日は 17:00 まで)

gallery MONOCOTO

<https://www.mono-coto.net/>

フィールドワーク写真展

「都市の再発見」

背面を撮る。逆から探る。裏側を撮る。

The Backside of the City

主催 追手門学院大学地域創造学部 [都市文化・文化創造コース]
 ☞backside.of.the.city@gmail.com

The Backside of the City / 都市の再発見

「新奇なものをつくり出すだけが創造性ではない。見慣れたものを未知なるものとして再発見できる感性も同じく創造性である。既に手にしているながらその価値に気づかずにいる膨大な文化の蓄積とともに僕らは生きている。それらを未使用の資源として活用できる能力は、無から有を生み出すのと同様に創造的である」

(原研哉『デザインのデザイン』岩波書店 2003, p.24)

地域創造とはなにか。地域とは、帰属の基層である。すべての帰属を失ってなお、離れがたく残るのは地域という場所である。その意味で、どこにも帰属しないという人はどこにもいない。

創造とは、再発見の結晶である。都市には、「既に手にしているながらその価値に気づかずにいる膨大な文化の蓄積」がある。すなわち、地域創造とは私たちの帰属する場所に蓄積された、膨大な文化の価値を再発見する営みである。いかにそのような価値を見出すことができるのか。深く、広く、多様に、しなやかに、いかにその場所へのまなざしを手にするすることができるのか。その方法の一つは、いったん立ち止まり、背面への／からの視線を持つことだ。「背面」とはなにか。この問いに無数の仮説を与える思考のプロセスこそが、「見慣れたものを未知なるものとして再発見できる感性」を磨く。

今回のフィールドワークでは、参加学生一人ひとりがそんな「背面」を求めて現場に繰り出した。むろん、易々と見つかるような表層に創造性の糸口などあるはずもない。彼/彼女らが見出したものは、ほんのかすかなきっかけにすぎない。だが、そのきっかけを手放すことなく、粘り強く、確実に手繰り寄せていくならば、いずれは未知なる都市の再発見にたどりつくかもしれない。「フィールドワーク写真展」はその第一歩の記録である。

追手門学院大学地域創造学部 [都市文化・文化創造コース]
 井上典子・岩淵亜希子・草山太郎・佐藤友美子
 田中正人・沼尻正之・善積京子

森本アリ Special Talk Live!
 ちいさなまちのあそびかた

2017/12/15 (fri)17:00 ~ 19:00
 gallery MONOCOTO

<https://www.mono-coto.net/> [入場無料・申込不要]
 ※席数に限りがありますので先着順とさせていただきます。

Guest Speaker
 森本アリ氏プロフィール



1996年 Ecole de recherche graphique (ベルギー/ブリュッセル) 卒。音楽家、神戸、塩屋の築105年の西洋館「旧グッゲンハイム邸」管理人として、家族と共に住みつつ、企業や行政とは一味違った管理運営を行う。塩屋の未来を考へるようになり「塩屋まちづくり推進会」で活動。「塩屋百景」を立ち上げ写真集「塩屋百人百景」「塩屋百年百景」さらに「塩屋情景」(2017/9/5)を発行。単著に「旧グッゲンハイム邸物語 未来に生きる建築と、小さな町の豊かな暮らし」(ぴあ 2017/3/15)、塩屋の町に100年後200年後もあまり変わらないでいて欲しいと願う。



主催 追手門学院大学地域創造学部 [都市文化・文化創造コース]
 ☞backside.of.the.city@gmail.com